

親子聖書日課

NO.1728 2021.11/7-13

名前

[日]17章は、主の一番長い「大祭司の祈り」と呼ばれています。弟子達や信じる人々のために、執り成しの祈りが捧げられました。この祈りが彼らの信仰を支えました。私達も今日の祭司です。主に倣って、魂の救いのために祈りましょう。

[月]主は「私である」と名乗りをあげました。主は十字架を恐れませんでした。それは「父がお与えになった杯」なので、「飲むべき」と決断されたからです。主が与えて下さるものは、全て最善で完全な恵みです。死でさえも、打ち勝たれました。

[火]ペトロは主を助けるために、勇敢にも大祭司の手下に襲いかかりました。しかし、自分が危険になると、嘘をついて逃げ出すのです。誰でもこのペトロのように、弱い人間ではないでしょうか。だから、私達には主の十字架の赦しが必要です。

[水]ピラトは「真理とは何か」と主に尋ねながら、答えを得ないまま、その場を立ち去りました。ですから、真理を見い出せず、人を恐れ、主を十字架につけたのです。真理を求めたいなら、最後まで主の声を聞くべきです。真理は、人を生かします。

[木]ピラトは世論に屈して、自分の地位と名誉を守るために、良心の声を消し去りました。良心を売る人は、主を十字架につけるのです。私達は、お金や名誉、地位や快樂のために、信仰を売るようなことはあってはいけません。イエスは主です。

[金]主が「ユダヤ人の王」として十字架につけられたことには意味があります。それは世界の諸国民の代表がユダヤ人で、そのユダヤ人を代表するのが王でした。主イエスは全人類を代表して、罪の裁きを一身に負われ、救いを完成されました。

[土]「遂にやられた」ではなく、「成し遂げられた」と言って、主は息を引き取られました。十字架の苦しみを最後まで耐え忍び、預言の実現を見届けて死なれました。主の十字架の死によって、私達の救いが成し遂げられたことに、感謝しましょう。



	聖書	問題	答え
日	ヨハネ 17:1-26	主は全ての人をどのようにして下さいと祈られましたか。	
月	18:1-14	父がお与えになった何を飲むべきですか。	
火	18:15-27	ペトロは主の弟子ではないと、何度打ち消しましたか。	
水	18:28-38	真理に属する人は皆、主の声をどうしますか。	
木	18:38-19:16	祭司長たちや下役たちは、主を何につけよと、叫びましたか。	
金	19:16-27	ピラトは何という罪状書きを書いて、主を十字架にかけましたか。	
土	19:28-42	主は何と言い、頭を垂れて、息を引き取られましたか。	
感想と祈りの課題			